

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号

特表平8-511812

(43)公表日 平成8年(1996)12月10日

(51)Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I
C 0 8 G 73/10	N T F	9285-4 J	C 0 8 G 73/10
G 0 2 B 5/30		9514-2 H	G 0 2 B 5/30
G 0 2 F 1/1335	5 1 0	7724-2 K	G 0 2 F 1/1335

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全125頁)

(21)出願番号 特願平6-520386
(86)(22)出願日 平成6年(1994)4月21日
(85)翻訳文提出日 平成6年(1994)9月26日
(86)国際出願番号 P C T / U S 9 4 / 0 4 4 4 5
(87)国際公開番号 W O 9 4 / 2 4 1 9 1
(87)国際公開日 平成6年(1994)10月27日
(31)優先権主張番号 0 8 / 0 5 1 , 0 6 8
(32)優先日 1993年4月21日
(33)優先権主張国 米国 (U S)

(71)出願人 ザ ユニバーシティ オブ アクロン
アメリカ合衆国オハイオ州44313、アクロ
ン、イースト バクテル アベニュー
302
(72)発明者 ハリス、フランク ダブリュ
アメリカ合衆国オハイオ州44313、アクロ
ン、ディーブウッド ドライブ 1879
(72)発明者 チェング、ステフェン ゼット ディー
アメリカ合衆国オハイオ州44303、アクロ
ン、タミアミ トレイル 497
(74)代理人 弁護士 ウォーレン・ジー・シミオール

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 負複屈折のポリイミド膜

(57)【要約】

液晶ディスプレイに有用な負の複屈折膜、およびポリイミド膜の負の複屈折性を制御する方法が開示される、該方法はポリイミド主鎖の剛性、線状性および対称性に影響を与えるポリイミドのジアミンおよび二無水物セグメント内の官能基を選択することによってポリイミドの面内配向度を制御することにより目標の複屈折量に合わせることができる。ポリイミド主鎖の剛性、線状性および対称性が高い程、ポリイミド膜の負複屈折値は高くなる。

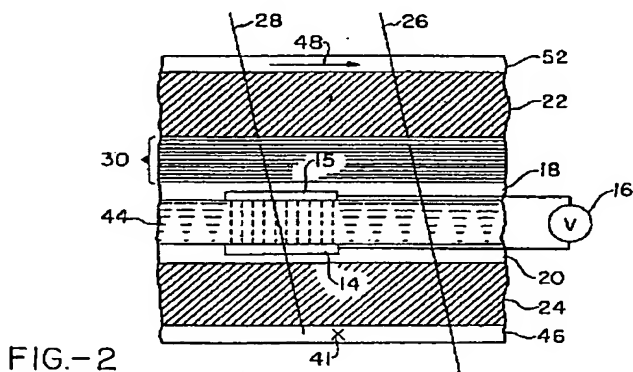


FIG-2